

科目ナンバー	LAW-3-011-jk			科目名	企業法		
教員名	谷口 聡			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	この講義では、企業の商取引活動に関する法律を学習する。いわゆる企業法は、非常に広範囲な法体系である。この講義では、特に、商法と会社法に商店を当てて学習する。近年、法令順守と企業統治は、企業法において非常に重要な研究教育分野となっている。具体的には、この講義では、株式会社の意思決定や組織、また、設立の方法などを考察していきたいと考える。						
到達目標	企業活動の主体である企業団体、とりわけ株式会社の今日的存在意義、企業の社会的責任、コンプライアンス、株式会社の設立条件、株式会社の組織内容、株式会社の活動能力、株主権等について分かり易く講義し、将来、学生諸君が本学を卒業後、社会人として株式会社の構成員として活躍する場合の必要最小限度の企業法人の法律知識の習得を目指したい。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド	○	主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	シラバスに示した講義内容に関し、毎回講義用プリントを作成し、配布して教授し併せて板書を交えて具体性に心がけ講義を行いたい。また、主体的に学習する態度と法的思考力を養うため、レポートを課すこととする、						
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	授業に出席するに際しては、なるべく教科書の予習を行うこと。また、会社法の主体である株式会社は、一般市民と共に社会の主人公であり、一般市民の基礎法である民法の基礎知識が前提となる。よって民法についての基礎知識を身につけるように心掛けて望んで貰いたい。						
アセスメントポリシー及び評価方法	期末テストの配点を80%、学修意欲を20%、						
教材	「やさしい会社法」、著者：丸山秀平、法学書院、定価：2000円、ISBN4587035726このほか、教員が毎回用意するレジュメを教材とする。						
参考図書	「会社法」中東正文ら著(有斐閣 2015年)1900円+税「プライマリー会社法」古瀬村邦夫・藤田勝利・北村雅史編 法律文化社出版「なるほど会社法」山本浩司著 中央出版社「よく分かる会社法」永井和之編著 ミネルバ書房2007年版 2500円+税「会社法判例百選」江頭憲治郎ほか 有斐閣(2000円)そのほか適宜指示						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	授業計画の説明、評価方法、心構えについて一企業法を学ぶ意義と学ぶ対象や受講の心構えについて理解を深めてもらう。						
授業外学修内容	テキスト第1章第1節(会社法の内容と会社の種類)を読み、予習する。					時間数	0.5
2週目							
授業学修内容	会社・企業・会社法の意義等について一会社と企業概念上の相違、企業の社会的責任やコンプライアンス等や会社法の役割について学びたい。						
授業外学修内容	テキスト第1章第2節(「営利社団法人」としての会社)を読み、予習する。					時間数	0.5
3週目							
授業学修内容	各種法人の種類とその能力等について一平成19年度に法人の在り方が改正された。ここでは各種法人の種類とその特色について学びたい。						
授業外学修内容	テキストに取上げている「八幡製鉄政治献金事件」と「南九州税理士会事件」の判決を読み、予習する。					時間数	0.5
4週目							
授業学修内容	株式会社の設立手続きについて一株式会社設立要件・手続等について学びたい。						
授業外学修内容	テキスト第2章第1節を読み、予習する。					時間数	0.5

5週目			
授業学修内容	株式の意義と種類株式について(その1)―企業活動の主体である株式会社は株式を発行して資本を調達している。ここでは株式の意義とその種類について学びたい。		
授業外学修内容	テキスト第2章第2節を読み、予習する。	時間数	0.5
6週目			
授業学修内容	株式の意義と種類について(その2)―上記同じ。		
授業外学修内容	テキスト第2章第3節を読み、予習する。	時間数	0.5
7週目			
授業学修内容	株式の譲渡と制限について―資金調達的手段である株式の譲渡やその制限に関する規則を学びたい。		
授業外学修内容	第3章の「株式譲渡」を読み、予習する。	時間数	0.5
8週目			
授業学修内容	株主総会の権限と召集について―株式総会は、会社の最高意思決定機関である。ここでは株式会社の主体である株主の株式総会における法律上の地位や権限について学びたい。		
授業外学修内容	第2章の「株主総会」を読み、予習する。	時間数	0.5
9週目			
授業学修内容	業務執行機関について(その1)―会社法設立に伴って会社には多様な役割を有する会社の機関の設置が義務化された。ここでは会社の機関である業務執行機関等の種類とその役割について学びたい。		
授業外学修内容	第2章の「取締役」を読み、予習する。	時間数	0.5
10週目			
授業学修内容	業務執行機関について(その2)―上記同じ。		
授業外学修内容	第2章の「取締役会」を読み、予習する。	時間数	0.5
11週目			
授業学修内容	監査や検査機関について―会社が、目的を実現するために執行機関が法令に基づいて、業務執行を果たしているか否かを監視する監査役等の機関の役割について学びたい。		
授業外学修内容	第2章の「監査役」を読み、予習する。	時間数	0.5
12週目			
授業学修内容	資金調達方法について―活動資金は、会社の主たる目的である効率的営利活動による収益による場合と株式を発行し投資家に買ってもらい資金を得る方法があるが、その資金の調達方法について学びたい。		
授業外学修内容	第2章「募集株式の発行」を読み、予習する。	時間数	0.5
13週目			
授業学修内容	企業合併や企業買収等について―企業合併等の方法や問題点について学びたい。		
授業外学修内容	第2章「組織変更・合併・株式交換・株式移転・会社分割」を読み、予習する。	時間数	0.5
14週目			
授業学修内容	企業活動責任の法律関係について(その1)―代表取締役等に代表される業務執行機関や監査機関などが法律に違反した場合の罰則規定等について学びたい。		
授業外学修内容	配布資料に基づき、取締役の善管注意義務について、予習する。	時間数	0.5
15週目			
授業学修内容	企業活動責任の法律関係について(その2)―代表取締役等に代表される業務執行機関や監査機関などが法律に違反した場合の罰則規定等について学びたい。		
授業外学修内容	配布資料に基づき、取締役の忠実義務について、予習する。	時間数	0.5
上記の授業外学修時間の合計		7.5	
その他に必要な自習時間		82.5	

Number	LAW-3-011-jk	Subject	Business Law			
Name	谷口 聡 (Taniguchi Satoshi)	Year and Semester	S First semester for 2020	Credits	2	
Course outline	In this lecture we study the law which concern about commercial trade acitivity of corporations. So called "Corporation Law" covers large fields of laws. Especially in this lecture, lecturer focuse s on "Commercial Law" and "Company Law", In recent years, Compliance and Corporate Govern ance is a very important key words in the study and education fields. In embody writing, we obs erve intent decision, organization and establishment of Limited Company.					